

平成23年度

決 算 概 要

東京都清瀬市

## 目 次

1	平成23年度決算の特徴	1
2	平成23年度の主な事業	1
3	市財政の状況	3~11
資料		
1	決算カード（普通会計）	12
2	東京都市町村総合交付金の内訳・充当事業一覧	14
3	保育園財源別経費調	15
4	地方債借入先別及び利率別現在高の状況（普通会計）	16
5	団体別決算収支の状況	17
6	人口一人あたり歳入決算額の状況	18~21
7	人口一人あたり歳出決算額の状況	22~24
8	財政健全化法4指標関係	25

## 1. 平成23年度決算の特徴

### (1) 決算額

清瀬市一般会計の平成23年度決算は、歳入総額は277億474万円、歳出総額は265億3,424万円で、歳入歳出差引額は11億7,050万円となり、翌年度に繰越すべき財源を差引いた実質収支は10億4,723万円(前年度実質収支5億9,464万円)、実質収支比率は7.2%(前年度4.1%)となりました。

歳入では、旧清瀬第九小学校跡地の売払いにより財産収入が前年度に比べ8億4,654万円と大きく増額したほか、市税や地方交付税が増額となりましたが、普通建設事業費の減少に伴い、地方債が前年度に比べ10億2,120万円と大きく減額したことにより、前年度より歳入総額では5,067万円の減少となりました。

一方、歳出では、公債費で旧都立清瀬東高等学校跡地購入に係る借入金の一部繰上償還を実施したことにより前年度に比べ9億1,977万円の増額となったほか、下水道事業特別会計において資本費平準化債の発行を抑制したことなどにより繰出金が増額となりましたが、清瀬市民センター再整備事業や小中学校校舎地震補強事業の完了等により普通建設事業費が前年度に比べ15億7,559万円と大きく減額したことにより、結果として歳出総額では、前年度より5億6,004万円の減少となりました。

#### 一般会計決算額

(単位:千円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰越すべき財源	実質収支
23年度	27,704,740	26,534,235	1,170,505	123,275	1,047,230
22年度	27,755,410	27,094,279	661,131	66,495	594,636
差引	▲ 50,670	▲ 560,044	509,374	56,780	452,594

### (2) 実質単年度収支

平成23年度の形式収支は、11億7,050万円となりましたが、翌年度に繰越すべき財源を控除した後の実質収支は10億4,723万円となりました。また、前年度の収支と積立金等を加減した実質単年度収支は11億930万円(前年度1億7,205万円)の黒字となりました。

#### 実質収支及び単年度収支

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
実質収支	1,160	709	539	693	595	1,047
単年度収支	466	▲ 451	▲ 170	154	▲ 99	452
積立金	0	150	41	535	645	298
繰上償還額	0	0	2	0	0	863
積立金取崩額	0	0	28	422	374	504
実質単年度収支	466	▲ 301	▲ 155	267	172	1,109

## 2. 平成23年度の主な事業

### 経済対策関係

- 地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業(DV対策講座開催経費等、図書館 図書等購入) ※H22からの繰越明許費
- 地域活性化・きめ細かな交付金事業(保育園・学童クラブ施設改修、備品購入等) ※H22からの繰越明許費
- 緊急雇用創出事業(学校図書室蔵書データベース化・ごみ不法投棄監視・除草・樹木剪定・固定資産台帳整備・市民農園巡回 等)

## 総務費

- 職員民間派遣研修実施
- 市庁舎耐震診断・改修調査実施
- 第4次清瀬市行財政改革実施計画策定
- 総合財務会計システム再構築
- コミュニティバス緑陰通り経由2便増
- 市税のコンビニ収納開始
- 都知事選挙・市議会議員及び市長選挙
- 旧清瀬第九小学校跡地売却

## 民生費

- 高齢者保健福祉計画策定
- 障害福祉計画策定
- 要援護者台帳管理システム構築
- よろず健康教室事業実施
- 高齢者熱中症対策事業実施(ネッククーラー配布等)
- 福祉マップの作成
- 障害者福祉センター機械式浴槽更新
- きよせ保育園定員増に伴う運営費等助成
- 武蔵野クリニック病児保育室施設整備及び運営費助成

## 衛生費

- 保健事業システム構築
- 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種助成開始
- 自殺予防対策事業実施
- 一般廃棄物処理基本計画策定
- ごみ分別マニュアル全戸配布

## 農林商工費

- きよせ産野菜PR助成
- ひまわりフェスティバル実施
- 生分解マルチシート購入助成
- プレミアム商品券発行助成
- 新・元気を出せ!商店街事業
- 消費者保護対策の充実(3年目)

## 土木費

- 道路整備事業費(清瀬中学校西側道路拡幅、舗装打換等)
- 下水道事業特別会計繰出金(下水道管耐震化工事)
- 金山緑地公園池浚渫工事実施
- 中央公園プール撤去工事実施
- けやき通りケヤキ診断実施
- 中里第2・4市営住宅3戸の解体工事実施

## 消防費

- 消防団夏活動服購入
- 消防団指令車更新
- 防災行政無線6基増設
- 家具転倒防止器具助成(3年目)

## 教育費関係

- 読書活動指導員・スクールソーシャルワーカー・学習サポーター配置拡充
- 第五中学校運動場芝生化工事実施
- 小中学校普通教室エアコン整備(六小・八小・清明小・各中学校)
- 清瀬中学校校舎大規模改造工事実施
- 児童生徒用机・椅子の計画的な取替え
- コミュニティプラザトイレ洋式化等改修工事実施
- 図書館電算処理システム再構築
- ケヤキロードギャラリーリーフレット作成
- うちおり冊子作成
- 博物館特別展(熊谷元一展)開催
- 下宿第三運動公園サッカー場改修工事実施(国体対応)
- 下宿第二運動公園用地購入
- 国体実行委員会設置

## 公債費

- 旧都立清瀬東高等学校跡地取得費借入金の一部繰上償還実施

## 労働費

- 清瀬・ハローワーク就職情報室開設

## 3. 市財政の状況

### (1) 市税収入の状況

平成23年度は、長引く景気低迷の影響により、個人市民税が前年度よりも1億148万円の大幅な減、法人市民税では前年度よりも1,251万円の減となっています。固定資産税は、新築家屋の増や償却資産の増に加え、滞納繰越分の増により前年度に対して1億2,645万円の大幅な増、また、市たばこ税は売上げ本数が年々減少傾向ですが、税率改正の影響により前年度よりも5,114万円の増となっています。こうしたことから、市税収入全体では前年度よりも8,117万円の増となっています。

現在の日本の景気は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな回復傾向にあるものの、電力供給の制約やデフレの影響等により依然として厳しい状況にあることから、平成24年度・25年度は市税収入が減少することが予想されます。

なお、市税徴収率につきましては、滞納管理オートダイヤルシステムや日曜窓口の開設など、従来からの収納対策の強化に加え、コンビニ収納を新たに導入し収納促進を図ったことなどにより、前年度の95.8%から0.9ポイント増の96.7%となり、26市の中でも3番目の高い順位となっています。

### 市税収入の推移

(単位:百万円、%)

	9年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
市税収入総額	9,009	9,469	9,399	9,257	9,095	9,176
対前年度増減額	—	874	▲ 70	▲ 142	▲ 162	81
対前年度増減率	—	10.2	▲ 0.7	▲ 1.5	▲ 1.8	0.9

## (2) 経常一般財源と経常経費充当一般財源の推移

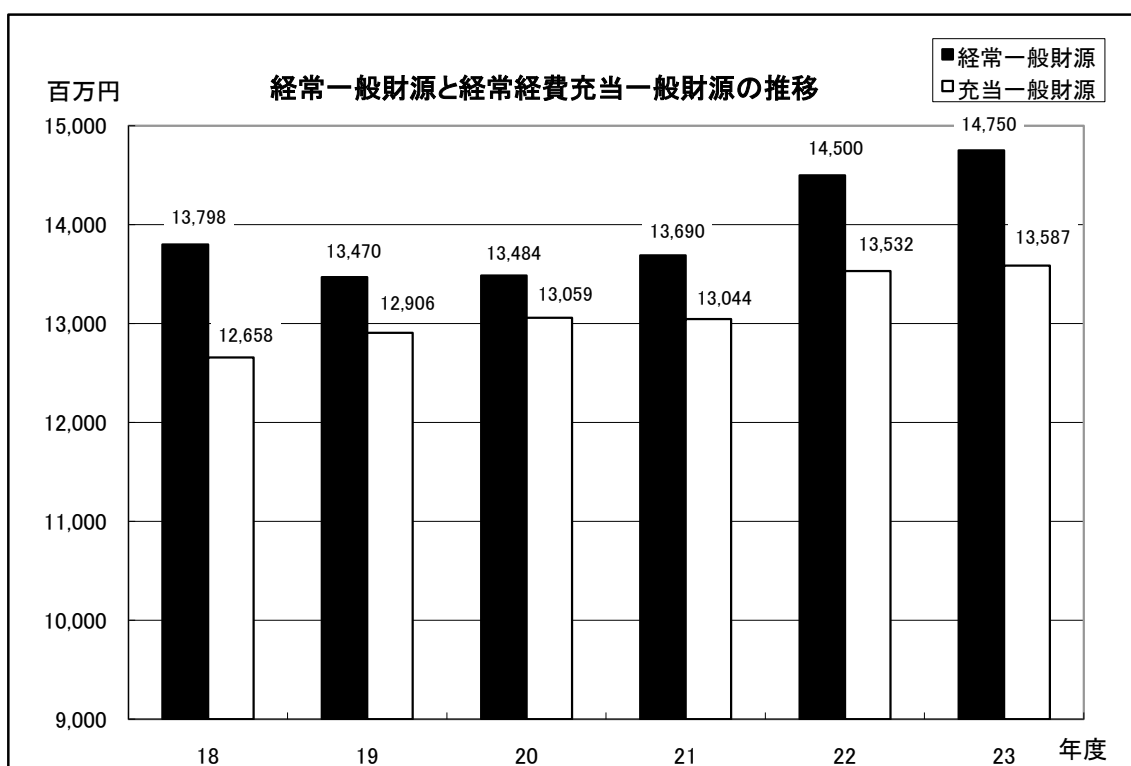
経常一般財源(経常的かつ用途が特定されない歳入)は、全体では前年度と比べ2億4,933万円の増加となりました。これは、市税が6,390万円増額するとともに、地方交付税が2億3,351万円増額したことによるものです。

一方、毎年度経常的に支出する経費の財源として充当される経常経費充当一般財源は、5,432万円増加しています。これは、扶助費や補助費等が減額となったものの、繰出金が1億743万円増額し、公債費が9,940万円増額したことによるものです。

経常一般財源と経常経費充当一般財源の推移

(単位:百万円)

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
経常一般財源	市 税	7,908	8,765	8,700	8,558	8,402	8,466
	地 方 譲 与 税	623	145	141	133	133	131
	利 子 割 交 付 金	76	105	85	67	67	63
	自動車取得税交付金	173	152	141	68	79	66
	地 方 交 付 税	3,049	2,691	2,848	2,920	3,558	3,792
	そ の 他	1,969	1,612	1,569	1,944	2,261	2,232
	合 計	13,798	13,470	13,484	13,690	14,500	14,750
充当一般財源	人 件 費	4,587	4,560	4,522	4,558	4,332	4,351
	扶 助 費	1,697	1,746	1,873	2,014	2,261	2,081
	公 債 費	1,879	1,967	1,993	1,959	2,058	2,157
	物 件 費	1,620	1,568	1,430	1,413	1,554	1,598
	補 助 費 等	1,664	1,640	1,830	1,712	1,813	1,775
	そ の 他	1,211	1,425	1,411	1,388	1,514	1,625
合 計	12,658	12,906	13,059	13,044	13,532	13,587	
差引額		1,140	564	425	646	968	1,163



### (3) 財政の弾力性を示す経常収支比率

経常収支比率は、地方税、普通交付税、地方譲与税等の毎年度経常的に収入される経常一般財源に対し、人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に使われた一般財源(経常経費充当一般財源)がどの程度あるかを示し、その団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般的には70～80%程度が適正水準とされています。

平成23年度は、経常経費充当一般財源は生活保護費の財源変更などにより扶助費が減となったものの、全体では54,324千円増加しました。しかし、地方税と地方交付税の増により経常一般財源が249,330千円増加したことで、経常収支比率は前年度と比べ1.2ポイント改善した92.1%となりました。

また、26市の平均と比較して清瀬市の財政状況を見てみると、義務的経費のうち扶助費の比率は生活保護被保護率同様、依然として高くなっているほか、人件費や公債費の比率についても高い水準となっております。

平成23年度は市税が増収となったものの、長引く景気低迷から予断を許さない状況にあります。また、市庁舎をはじめとする公共施設の耐震化や改修など、多額の財源を要する課題が多くあることから、引き続き健全財政に努めていかなければなりません。

#### 経常収支比率の比較(26市平均・類似団体)

(単位:%)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
清瀬市	91.7	95.8	96.8	95.3	93.3	92.1
26市平均	88.6	91.4	94.3	93.2	92.5	92.1
類似団体	91.9	94.0	94.1	93.6	91.9	-

#### 市民一人当たりの経常経費充当一般財源の推移

(単位:円、%)

		平成22年度			平成23年度			対前年度増減		
		経常経費充当一般財源	経常収支比率		経常経費充当一般財源	経常収支比率		経常経費充当一般財源	経常収支比率	
			減税補てん債等を含めた比率	減税補てん債等を除いた比率		減税補てん債等を含めた比率	減税補てん債等を除いた比率		補てん債等含	補てん債等除
人件費	清瀬市	59,399	29.9	32.9	59,564	29.5	32.4	165	▲ 0.4	▲ 0.5
	26市平均	52,573	27.1	28.9	52,988	26.5	28.1	415	▲ 0.6	▲ 0.8
扶助費	清瀬市	31,009	15.6	17.2	28,490	14.1	15.5	▲ 2,519	▲ 1.5	▲ 1.7
	26市平均	25,199	12.8	13.7	25,700	12.9	13.7	501	0.1	0.0
公債費	清瀬市	28,218	14.2	15.6	29,531	14.6	16.1	1,313	0.4	0.5
	26市平均	22,460	11.8	12.6	23,341	11.8	12.5	881	0.0	▲ 0.1
義務的経費計	清瀬市	118,626	59.7	65.7	117,585	58.2	64.0	▲ 1,041	▲ 1.5	▲ 1.7
	26市平均	100,232	51.7	55.2	102,029	51.2	54.3	1,797	▲ 0.5	▲ 0.9
物件費	清瀬市	21,310	10.7	11.8	21,880	10.8	11.9	570	0.1	0.1
	26市平均	31,771	16.1	17.1	32,931	16.3	17.2	1,160	0.2	0.1
維持補修費	清瀬市	293	0.1	0.2	309	0.2	0.2	16	0.1	0.0
	26市平均	1,995	0.8	0.9	1,637	0.8	0.9	▲ 358	0.0	0.0
補助費等	清瀬市	24,865	12.5	13.8	24,303	12.0	13.2	▲ 562	▲ 0.5	▲ 0.6
	26市平均	23,809	12.8	13.6	25,159	12.5	13.3	1,350	▲ 0.3	▲ 0.3
その他繰出金等	清瀬市	20,462	10.3	11.3	21,907	10.9	11.9	1,445	0.6	0.6
	26市平均	21,092	11.1	11.8	22,508	11.3	12.0	1,416	0.2	0.2
合計	清瀬市	185,556	93.3	102.7	185,984	92.1	101.1	428	▲ 1.2	▲ 1.6
	26市平均	178,899	92.5	98.7	184,264	92.1	97.6	5,365	▲ 0.4	▲ 1.1
経常一般財源	清瀬市	180,689	—	—	183,932	—	—	3,243	—	—
	26市平均	185,549	—	—	186,877	—	—	1,328	—	—
減税補てん債等を含めた経常一般財源		198,830	—	—	201,905	—	—	3,075	—	—

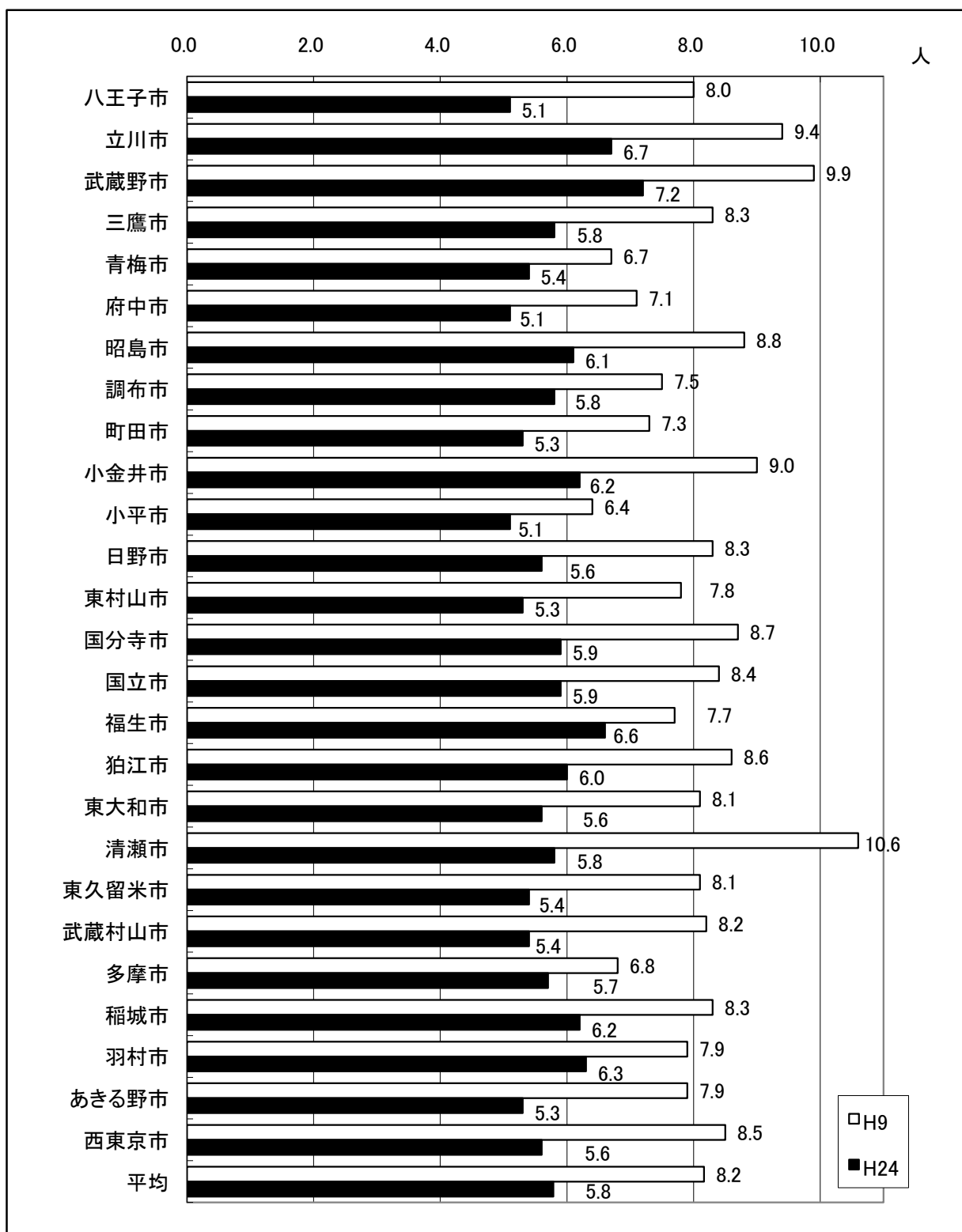
※ 減税補てん債等は、減税補てん債、臨時財政対策債及び減収補てん債特例分を表したものです。

※ 計数については、端数調整をしていないため、合計と一致しない場合があります。

#### (4) 職員数削減の取り組み

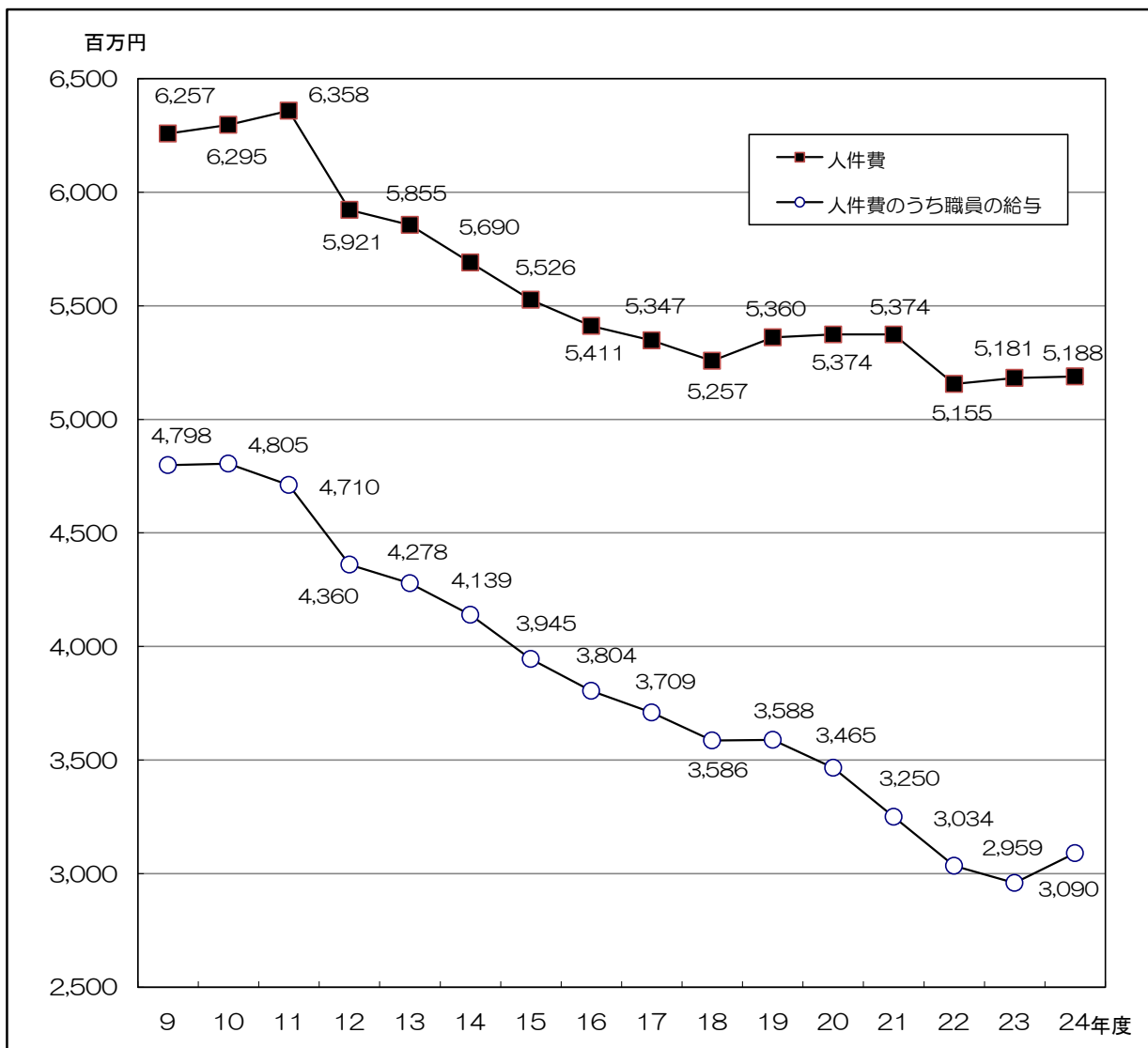
職員数は平成9年4月1日現在708人(人口千人当たりの職員数10.6人)でしたが、職員定員計画の着実な推進により平成24年4月1日現在では427人(人口千人当たり職員数5.8人)となりました。職員数については、その時々の方針や地域の特殊性など一概に比較することはできませんが、清瀬市の人口千人当たりの職員数は昨年度から0.1人減少し、26市平均(5.8人)と同じ水準となりました。

市民千人当たりの職員数の比較  
(平成9年、平成24年)



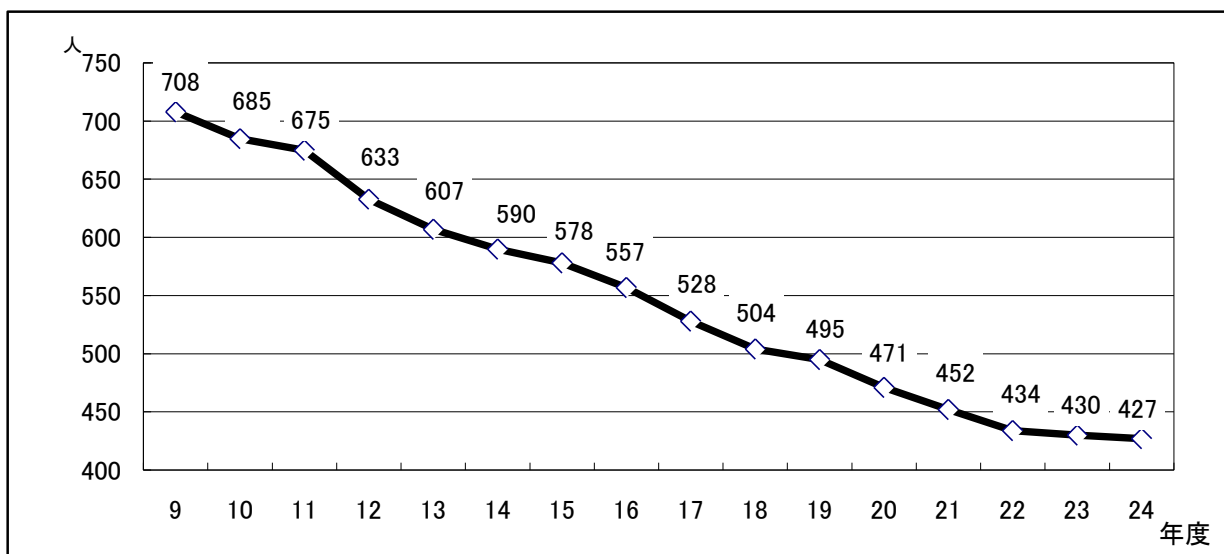


### 人件費の推移(全会計)



※平成24年度の人件費及び職員の給与は当初予算額です。

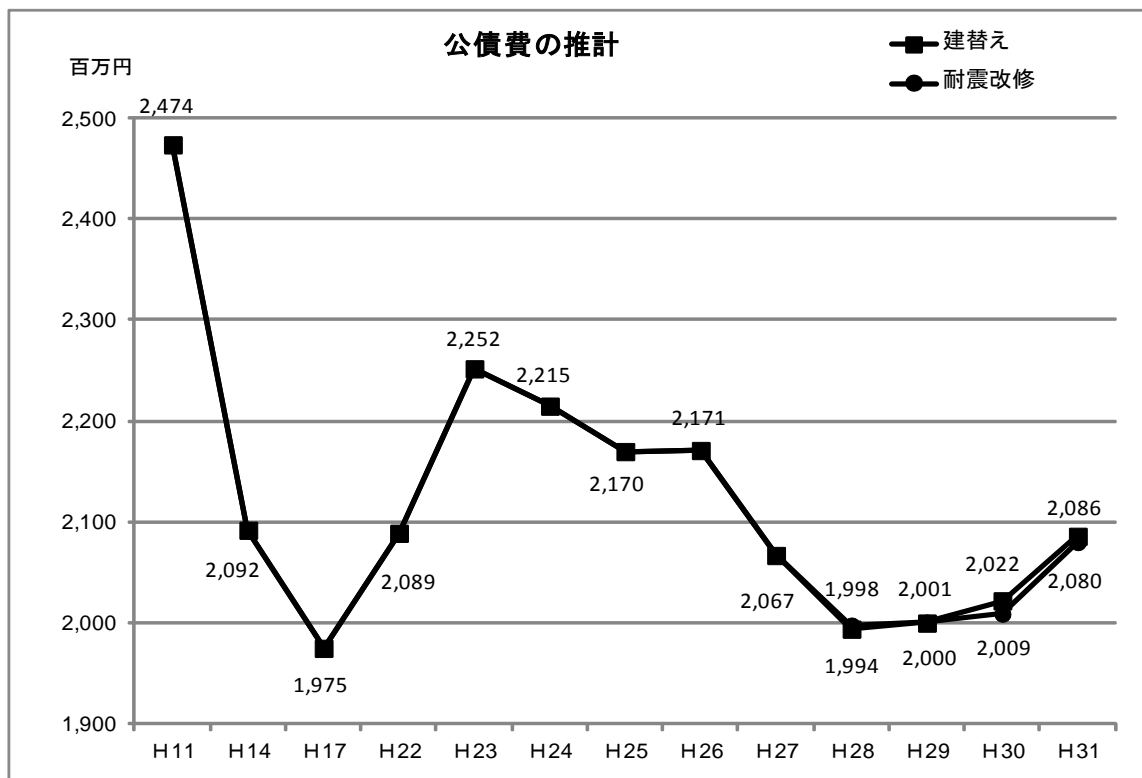
### 職員数の推移(全会計)



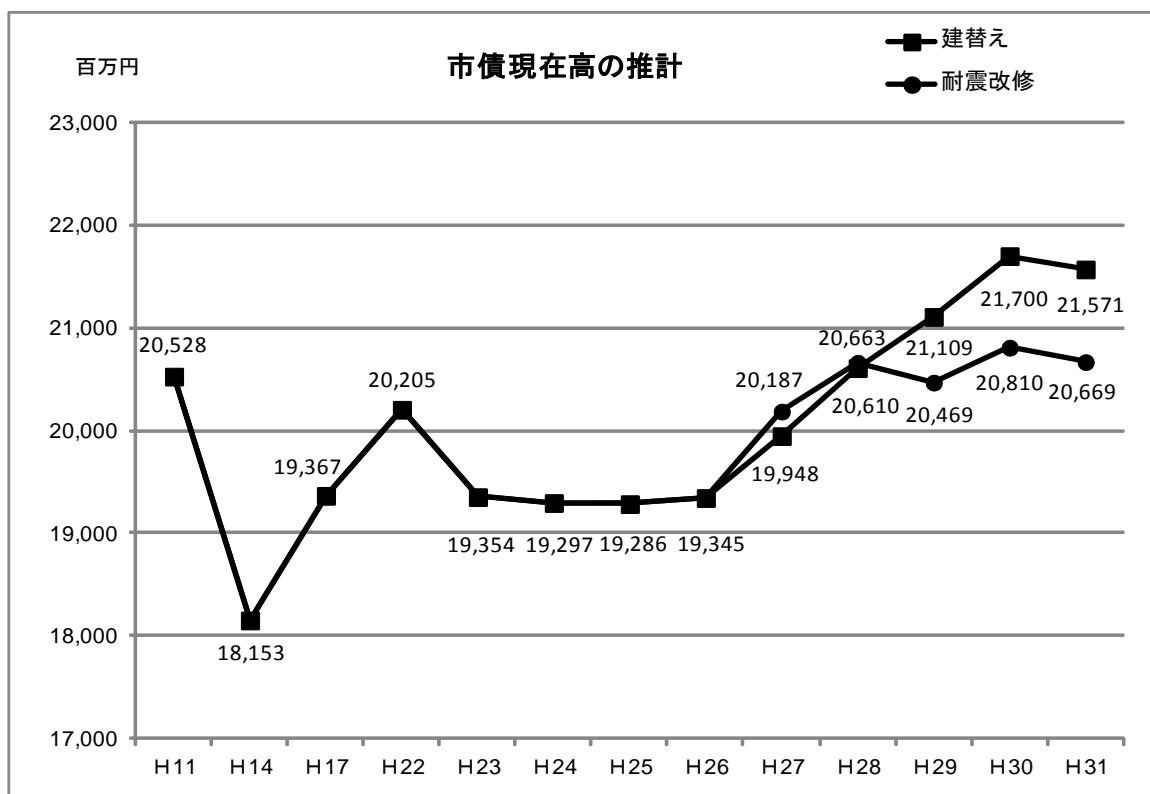
※職員数は各年度4月1日現在です。

### (5) 公債費及び市債現在高の推計

市庁舎をはじめ保育園、図書館、地域市民センターなど、旧耐震基準で建設された公共施設の耐震改修等が今後の大きな課題となっています。こうしたことから、推計表では、市庁舎については、耐震改修の場合は平成27・28年度、建替えの場合は平成27・28・29・30年度工事と想定し、その他公共施設の耐震改修などを含め、今後の公債費、市債現在高を表しています。これらの数値は、今後一時的には上昇しますが、過去に発行した市債の償還が順次終了することから、市債現在高については、平成30年度をピークとして年々減少すると見込んでいます。



※H23年度は旧清瀬東高跡地取得に係る市債の一部繰上償還8億円を除いた数値である



公債費及び市債現在高推計表 (普通会計)

(単位：百万円)

区分	H22決算	H23決算	H24予算	H25推計	H26推計	H27推計	H28推計	H29推計	H30推計	H31推計
元利償還金合計(庁舎耐震改修)	2,089	2,252	2,215	2,170	2,171	2,067	1,998	2,001	2,009	2,080
元利償還金合計(庁舎建替え)							1,994	2,000	2,022	2,086
公債費比率(庁舎耐震改修)	9.1%	9.4%	8.8%	8.2%	7.6%	6.8%	6.2%	5.6%	5.0%	5.6%
公債費比率(庁舎建替え)								5.1%		5.7%
年度末市債現在高(庁舎耐震改修)	20,205	19,354	19,297	19,286	19,345	20,187	20,663	20,469	20,810	20,669
年度末市債現在高(庁舎建替え)	9,436	10,156	10,847	11,420	11,854	19,948	20,610	21,109	21,700	21,571
うち、臨時債等の現在高 ※						12,280	12,533	12,613	12,651	12,654
差引 建設事業債の現在高(庁舎耐震改修)	10,769	9,198	8,450	7,866	7,491	7,907	8,130	7,856	8,159	8,015
差引 建設事業債の現在高(庁舎建替え)						7,668	8,077	8,496	9,049	8,917
市債発行額(庁舎耐震改修)	2,822	1,863	1,791	1,860	1,928	2,600	2,143	1,461	2,000	1,577
建設事業債	1,499	550	461	560	728	1,500	1,143	561	1,100	677
臨時財政対策債	1,323	1,313	1,330	1,300	1,200	1,100	1,000	900	900	900
市債発行額(庁舎建替え)	2,822	1,863	1,791	1,860	1,928	2,361	2,329	2,154	2,250	1,577
建設事業債	1,499	550	461	560	728	1,261	1,329	1,254	1,350	677
臨時財政対策債	1,323	1,313	1,330	1,300	1,200	1,100	1,000	900	900	900
主な起債事業と起債額 (百万円)	◆清瀬市民センター改修786 ◆コミュニケーションセンター改修69 ◆消防ポンプ車15 ◆中学校校舎地震補強220 ◆道路整備48 ◆第三セクター出資350 ◆清中用地購入11 ◆臨時債1,323	◆臨時債1,313 ◆小中学校エアコン89 ◆道路整備122 ◆国体サッカー場整備91 ◆下宿第二運動公園借用地購入46 ◆消防団指令車購入4 ◆防災行政無線17 ◆清中大規模改造(緑越)181	◆臨時債1,330 ◆小中学校校舎屋上防水42 ◆消防ポンプ車14 ◆道路整備111 ◆芝山小学校大規模(緑越)149 ◆小中学校エアコン116 ◆防災行政無線(緑越)29	◆臨時債1,300 ◆その他560 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 ・道路整備 等}	◆臨時債1,200 ◆その他728 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 ・道路整備 等}	◆庁舎耐震改修(817)又は建替え(578) ◆臨時債1,100 ◆その他683 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 及び耐震工事 ・道路整備 等}	◆庁舎耐震改修(507)又は建替え(693) ◆臨時債1,000 ◆その他636 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 及び耐震工事 ・道路整備 等}	◆庁舎建替え693 ◆臨時債900 ◆その他561 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 及び耐震工事 ・道路整備 等}	◆庁舎建替え250 ◆臨時債900 ◆その他1,100 {小中学校校舎 大規模改修 ・公共施設改修 及び耐震工事 ・道路整備 等}	◆臨時債900 ◆その他677 {公共施設改修 及び耐震工事 ・道路整備 等}

※H23年度は旧清瀬東高跡地取得に係る市債の一部繰上償還8億円を除いた数値である

※臨時債等には、臨時財政対策債・減税補てん債・臨時税収補てん債が含まれている。

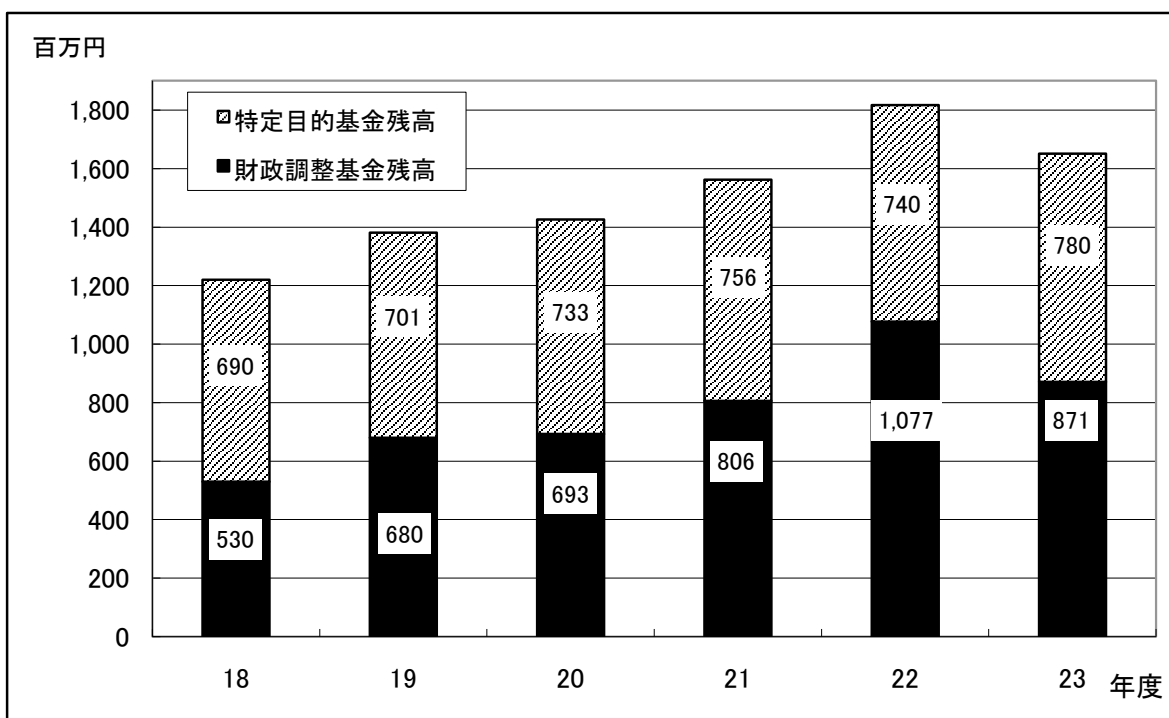
## (6) 基金現在高の状況

平成23年度末の基金残高は、財源不足により財政調整基金を積立額より多く取り崩したことにより、基金合計で1億6,600万円の減少となりました。また、他市との比較においても、依然として残高が少ない状況となっています。

### 積立基金の残高の推移(各年度末現在)

(単位:百万円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
財政調整基金残高	530	680	693	806	1,077	871
特定目的基金残高	690	701	733	756	740	780
基金残高合計	1,220	1,381	1,426	1,562	1,817	1,651



### 積立基金の残高の状況

(単位:千円)

基金名	22年度末 現在高	23年度積立額	23年度取崩額	23年度末 現在高
財政調整基金	1,076,604	298,485	504,279	870,810
減債基金	38,244	18,801	37,500	19,545
公共用財産の取得及び建設基金	526,257	54,333	0	580,590
社会福祉基金	6,051	116	0	6,167
緑地保全基金	163,317	1,933	0	165,250
郷土博物館資料収集基金	5,706	11	0	5,717
ふれあい福祉振興基金	614	1	0	615
まちづくり応援基金	333	2,096	0	2,429
合計	1,817,126	375,776	541,779	1,651,123

各市の積立基金現在高一覧(23年度末)

(単位:百万円)

	財政調整基金	その他特目基金	積立基金合計
八王子市	10,084	4,176	14,260
立川市	5,764	5,239	11,003
武蔵野市	6,085	25,527	31,612
三鷹市	3,699	5,235	8,934
青梅市	2,128	5,021	7,149
府中市	4,435	30,607	35,042
昭島市	2,572	2,827	5,399
調布市	4,360	5,157	9,517
町田市	7,015	6,855	13,870
小金井市	1,612	2,413	4,025
小平市	2,357	4,420	6,777
日野市	2,658	8,346	11,004
東村山市	3,567	2,235	5,802
国分寺市	2,007	788	2,795
国立市	1,275	2,321	3,596
福生市	1,642	4,695	6,337
狛江市	644	1,470	2,114
東大和市	1,542	496	2,038
清瀬市	871	780	1,651
東久留米市	1,813	1,977	3,790
武蔵村山市	430	3,638	4,068
多摩市	1,203	8,999	10,202
稲城市	3,831	5,185	9,016
羽村市	2,019	2,502	4,521
あきる野市	933	1,338	2,271
西東京市	4,055	5,214	9,269
平均	3,023	5,671	8,695

